

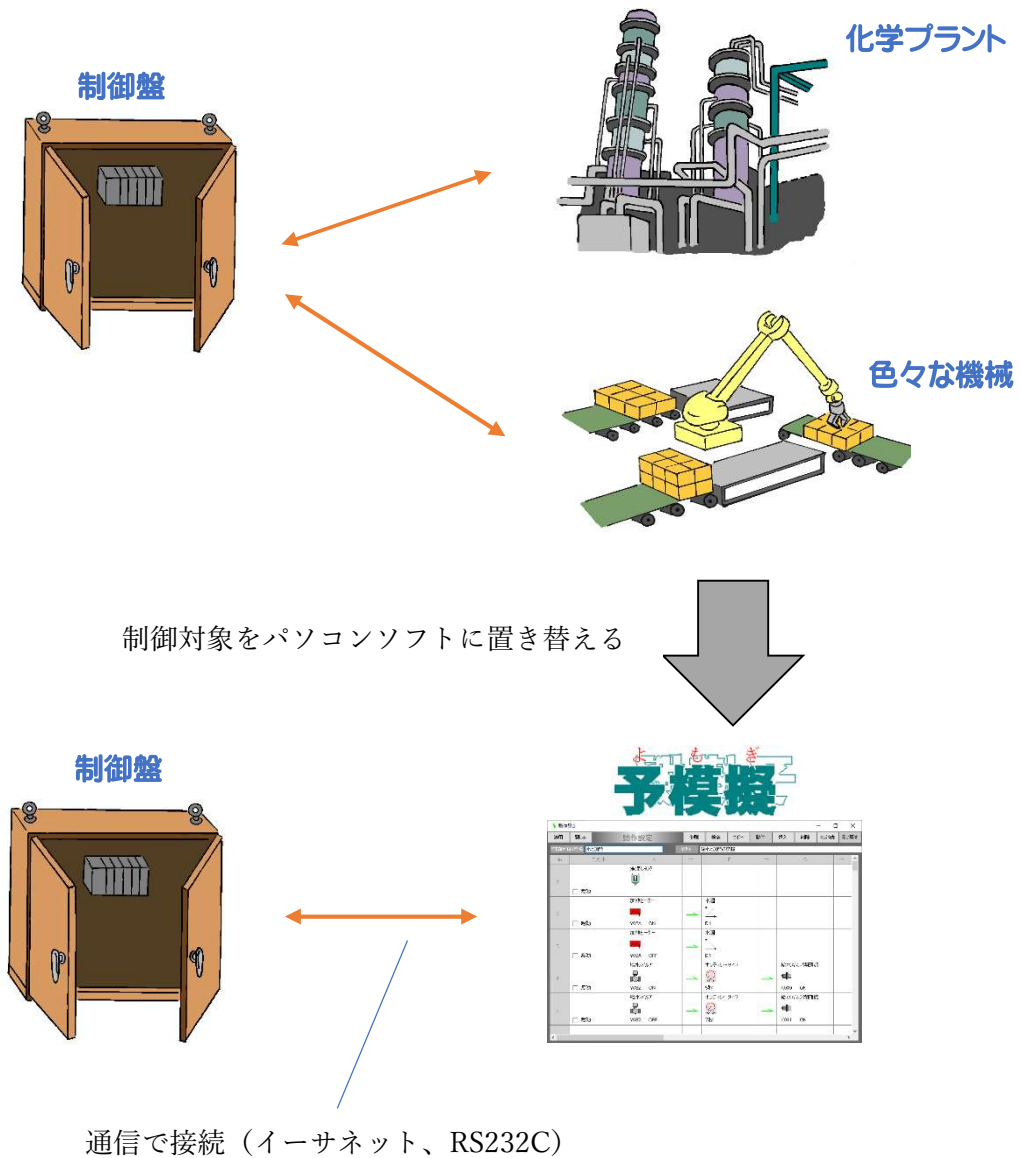


# 予模擬とは

無料お試し版、製品版のお求めは WEB から

<https://www.fs-c.co.jp/Yomogi/>

予模擬とは、プログラマブルロジックコントローラ(以下 PLC)の制御対象の代わりをして、ソフトデバッグの手助けをするものです。PLC の CPU ユニットとパソコンをイーサネットなどで接続し、パソコン上で本ソフトを実行する事により、PLC ソフトのデバッグを少しでも実際に近い形でできるようにします。デバッグ用のスイッチ盤、表示灯盤などをパソコンソフトに置き替え、簡単に制御対象の動作を作れるようにしたものです。



**【注意】**

実際と全く同じタイミングなどでデバッグできるものではありません。

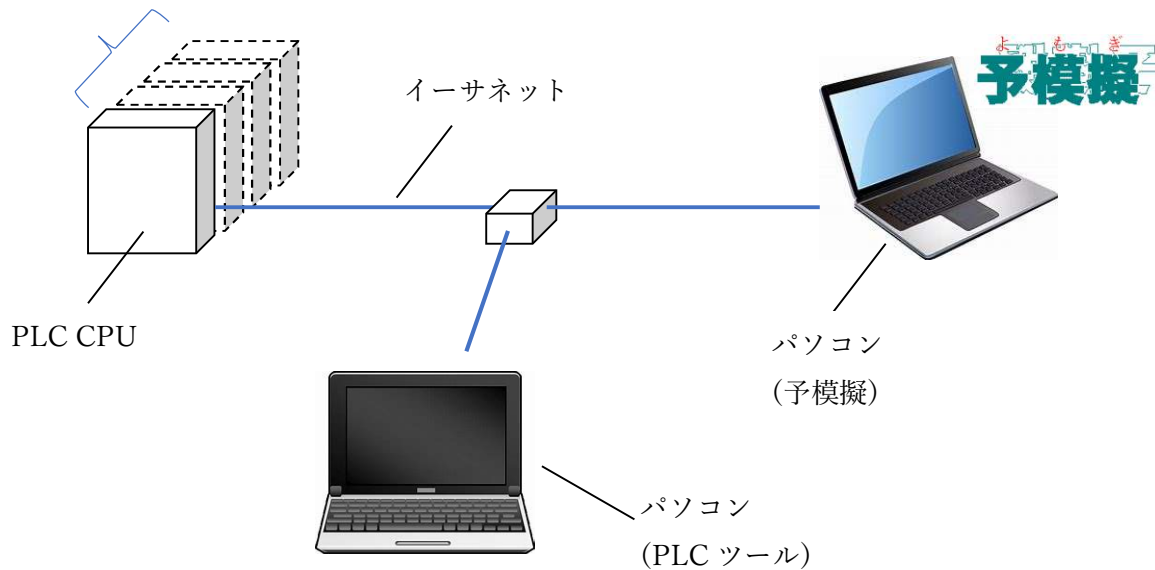
基本的に、入出力ユニットは実装しません。

予模擬の使用に際して、例えば入力部分のソフトなど、PLC ソフトの一部を一時的に変更しなければならない場合があります。詳しくは、別冊「各社 PLC との接続」をご参照ください。

● デバッグのハード構成

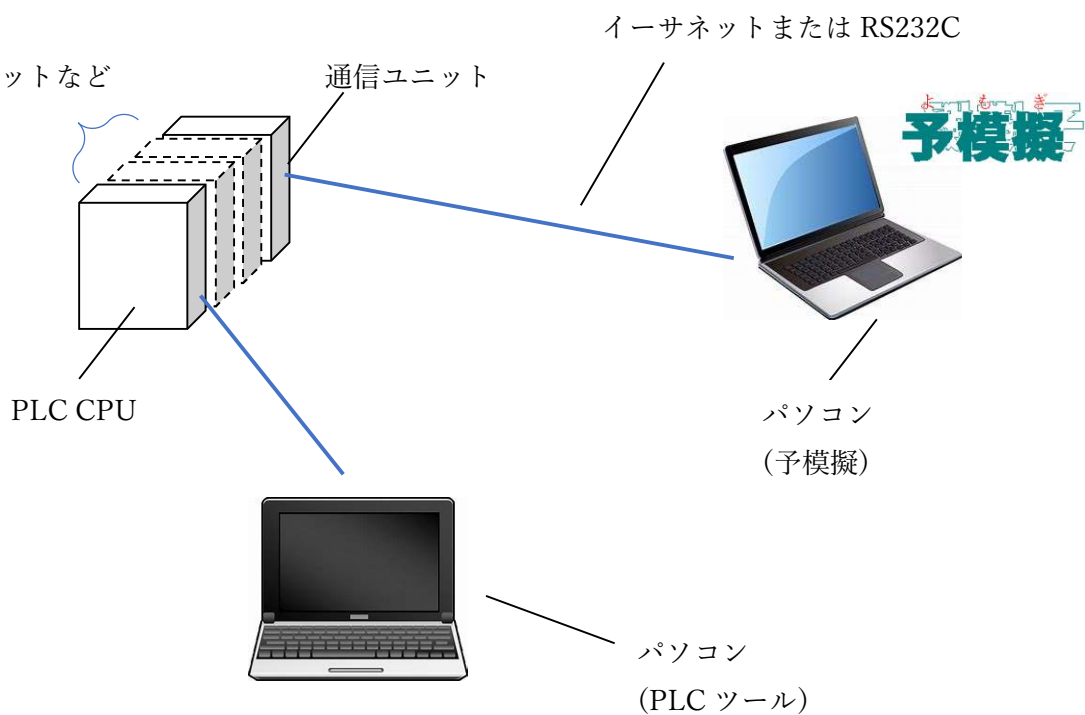
■ 例1 通信ポート付き CPU とパソコン(予模擬)

I/O ユニットなど

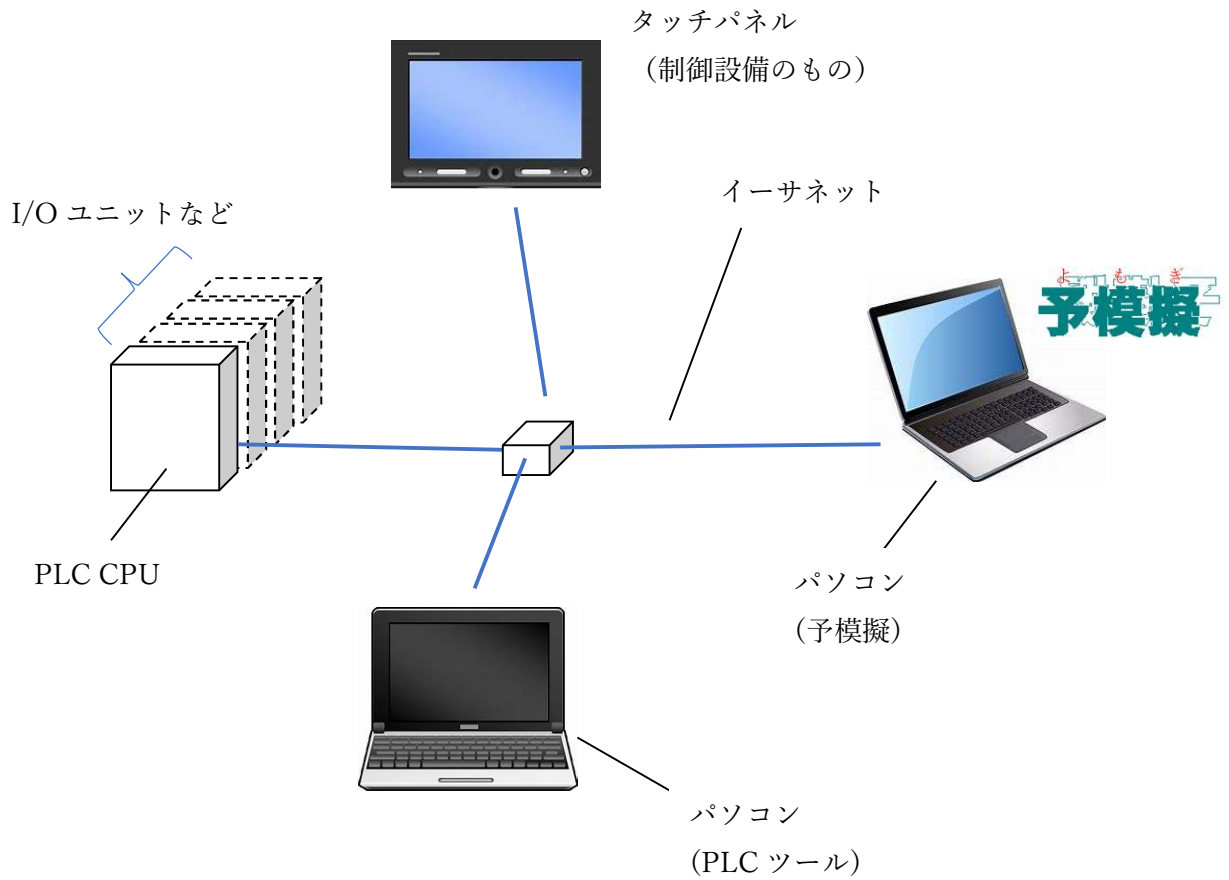


■ 例2 CPU、通信ユニットとパソコン(予模擬)

I/O ユニットなど



■例3 通信ポート付き CPU、タッチパネルとパソコン(予模擬)



●特徴

絵柄を並べるだけで直感的に制御対象の模擬が作れるので、PLC ソフト作成に負担をかけません。

■動作の遅延



■AND、OR などの論理演算



■ 数値演算



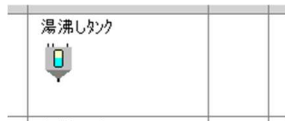
■ 時間と共に増加、減少するようなもの



■ パルス信号の発生



■ まとまった動作



■ 最初からキッチリと模擬動作を作る必要はありません。

■ PLC のソフトを作成しながらでも必要な部分の模擬を作成し、仕上げていくことができます。

第1版 2020/8/20  
第2版 2020/11/9



株式会社 フロンティアシステムズ  
〒582-0015  
大阪府柏原市高井田8-4-6  
E-mail info2@fs-c.co.jp  
<https://www.fs-c.co.jp>